

## 日本動物考古学会 第2回(2014年度)総会 議事録

2014年11月29日(土) 16:40~17:40 会場：福井県立三方青年の家・会議室

### ■会長挨拶

### ■議長選出

建石徹会員を議長として議事を進行した。

### ■議事

#### 1.報告事項

##### (1)会員登録状況(庶務幹事：佐藤孝雄)

一般会員：122名・学生会員：17名 計139名(2014年11月28日時点)

##### (2)2013年度事業報告

###### a.庶務(庶務幹事：佐藤孝雄)

- ・役員会の開催。

開催日 2013年5月26日、7月27日、10月8日、11月16日

- ・入会案内および連絡先確認文書の発送(7月)

- ・第1回大会の準備、開催

開催日：2013年11月16日・17日、会場：慶應義塾大学三田キャンパス

大会参加者数：約70名、懇親会参加者数：約50名

発表件数：23件(口頭発表13件、ポスター発表10件)

- ・会誌の販売

第80回日本考古学協会大会の図書交換会に参加、会誌の販売と入会申込の受付を行った。

###### b.渉外(渉外幹事：本郷一美)

- ・日本人類学会骨考古学分科会との連携

第67回日本人類学会骨考古学分科会会場において入会案内を配布した。

- ・第12回 ICAZ(国際考古動物学会)の告知

###### c.広報(広報幹事：山崎 健)

- ・学会オフィシャル・サイトの開設・更新 <http://www.flet.keio.ac.jp/~sato/Zoarch/>

###### d.編集委員会(編集委員長：植月学)

- ・会誌『動物考古学』投稿規定の改定
- ・会誌『動物考古学』第31号の刊行

### (3)2013年度会計報告

- ・会計決算報告（会計幹事：山根洋子）  
別紙資料参照
- ・会計監査報告（会計監査：新美倫子）  
会計業務の内容が適切であることが報告された。

### (4)その他

- ・震災復興調査事業に関する報告と協力要請  
山崎健会員から以下の報告と依頼があった。  
「震災復興事業による多くの発掘調査が実施されるなか出土した遺物の整理作業が進んでいない状況がある。現在は奈良文化財研究所が対応にあたっているが、今後学会に協力をお願いすることも考えられる。その際にご助力賜りたい。」

## 2.審議事項

### (1)2015年度以降の大会・総会の開催時期について（代表幹事：樋泉岳二）

- a.会計年度の開始が4月である一方、大会・総会開催時期が11月(秋季)であるため学会運営に不都合が生じていることが報告され、以下の提案があり、全会一致で提案2が採択された。これにより、2015年度以降、大会・総会は原則春季に開催することが決定した。
- 提案1：会則を変更し、会計年度を半年ずらす。  
提案2：会計年度は変更せず、大会・総会の開催時期を秋季から春季に変更する。
- b. 2015年度大会・総会を7月4日(土)、5日(日)に奈良文化財研究所を会場として開催する方向で調整を進めたい旨の提案があり、全会一致で承認された。

### (2)2014年度事業計画

#### a.庶務（庶務幹事：佐藤孝雄）

- ・役員会の開催  
役員会を4回程度開催する（現在までに5月7日、10月14日(台風のため開催中止、メール会議をもって代替)、11月29日の3回を開催済。今後更に1回開催する予定）。
- ・第2回大会の準備、開催。  
開催日：2014年11月29日・30日、会場：福井県立三方青年の家・若狭三方縄文博物館
- ・第3回大会開催の準備

- ・ 学会員メーリングリストの運用開始  
運用規定案（別紙資料参照）に基づいて学会員メーリングリストの運用を開始する。
- ・ 会誌の販売  
第 81 回日本考古学協会大会・図書交換会へ参加、会誌販売・入会申込を受付ける予定。

b. 渉外（渉外幹事：本郷一美）

- ・ 関連学会との連携  
第 68 回日本人類学会において、骨考古学分科会とシンポジウム「一歩進んだ遺跡出土動物骨の分析から人類史を読み解く」を共催する（2014 年 11 月 3 日に開催済）。
- ・ 関連学会・シンポジウム開催情報等の発信

c. 広報（広報幹事：山崎 健）

- ・ 学会オフィシャル・サイトの管理・更新  
コンテンツの充実化を図るとともに、引き続き学会員に有用な情報を適宜提供することに努めたい。

d. 編集委員会（編集委員長：植月 学）

- ・ 会誌『動物考古学』第 32 号の編集・刊行
- ・ 第 32 号(2014 年度)原稿提出締切日の延期  
締切日をかねてお知らせしていた 11 月 30 日から 12 月 15 日に延期し、会員に対し積極的な投稿を促す。
- ・ 遺跡出土動物遺体速報の掲載（別紙資料参照）  
別紙の通り、今後会誌に遺跡出土動物遺体に関する速報を掲載する計画であり、会員に動物遺体の情報提供を依頼する。情報は編集委員会、または編集部が別途新設した以下のメールアドレスで受け付ける。  
[js.zooarch.ed@gmail.com](mailto:js.zooarch.ed@gmail.com)
- ・ 次号(第 33 号)以降の原稿提出締切日  
総会・大会の開催時期が半年早まることにも鑑み、9 月～10 月に早めることを検討したい。

上記 2014 年度事業計画については、いずれも全会一致で承認された。

(3)2014 年度予算案と執行状況（会計幹事：山根洋子）

- ・ 2014 年度予算案が提示され、10 月末日までの収支も報告された(別紙資料参照)。  
上記提案・報告の内容が全会一致で承認された。